

令和6年6月21日

各 位

のと共栄信用金庫

令和6年3月期（第109期）決算のご案内

運用利回りの上昇により資金運用収益が増加し、経常収益が4期振りの増収となるとともに、本業益であるコア業務純益も2期振りの増益となりました。

しかしながら、このたびの震災による影響が長期間に及ぶとの懸念から、予めより厳しい基準で引当金（将来発生する恐れのある損失に備えた積立金）を積み増したことから、最終損益は38億5,900万円の純損失となりました。

なお、決算後の自己資本総額は163億円、自己資本比率も国内基準の3倍近い11.10%と、依然として高い水準を維持しており、今後も経営の健全性・持続性に懸念はございません。

今回の損失は震災による一過性のものと捉えており、令和7年3月期の業績は、業務効率化の推進に加え、資金運用収益の増加と信用コストの減少により、これまでどおりの水準に回復すると見込んでいます。

当金庫は、今後も地域に一番近い金融機関として、地域経済の再生に向け努力を続けてまいりますので、何卒、変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上

[詳細はこちら](#)



<お問い合わせ先>

お客様相談窓口 0120-08-3450